ヒヤリハット報告書（該当項目にチェックマークを記入）

支店名：	事業所名：	工事名：
報告者氏名：	報告者所属会社名：	発生日：

発生時間	□始業前	□8～10時	□10～12時	□昼休み	□13～15時	□15～17時	□残業中	□終業後	□夜間	□その他（ ）
発生場所	□重機回り	□車両回り	□製造機械回り	□掘削・埋め戻し部	□道路（交差点内）	□道路（現場・店舗出入口）	□道路（左記以外）	□駐車場内	□足場作業床上	□足場～躯体への渡り部
	□足場昇降階段	□はしご・タラップ	□高所作業車上	□ローリングタワー上	□屋根上	□鉄骨上	□分電盤付近	□躯体建込部	□スラブ型枠上	□内装工事部
	□廊下	□バルコニー	□階段	□資材置場	□仮設事務所・休憩所	□朝礼広場	□ゲート付近	□仮設トイレ	□その他（ コンクリート土間 ）	
工事種別	□AS舗装工事	□路床工事	□路盤工事	□切削工事	□打換え工事	□掘削工事	□埋戻し工事	□地盤改良工事	□外構工事	□植栽工事
	□交通誘導員警備員	□施工管理	□工事管理	□通勤・現場間 移動	□足場の組立・解体工事	□測量・墨出し工事	□山留工事	□杭・柱改良工事	□基礎配筋工事	□基礎型枠工事
	□ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工事	□鉄筋工事	□圧接・溶接工事	□型枠工事	□その他	□ボイド工事	□鉄骨工事	□屋根工事	□外壁工事	□組石工事
	□防水工事	□塗装工事	□LGS工事	□造作工事	□PB張り工事	□クロス工事	□床（置床 ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ）工事	□床（ｼｰﾄ・ｶｰﾍﾟｯﾄ）工事	□床（OAフロア）	□家具・住設工事
	□美装工事	□昇降機工事	□電気工事	□設備工事	□解体工事	□その他（ ）				
作業内容	□整地・敷均し作業	□締固め作業	□重機作業	□機械作業	□清掃・片付け	□通行（歩行）	□通行（一人で荷物運搬）	□通行（複数で荷物運	□荷物を手渡し	□昇降（階段・ﾀﾗｯﾌﾟ）
	□昇降（脚立・立ち馬）	□昇降（重機・車両）	□打合せ	□休憩	□手直し・手戻り作業	□点検	□修理	□ｸﾚｰﾝ作業	□玉掛・外し作業	□誘導・監視作業
	□部材の加工作業	□自動車運転	□部材の組立作業	□部材の取付・取外し作業	□その他	□切断・穴あけ作業	□圧接・溶接・溶断作業	□練り混ぜ作業	□塗布作業	□足場の組立・解体作業
	□打設作業	□高所作業	□脚立・立ち馬上で作業	□有機溶剤取扱い作業	□はつり作業	□その他（ ）				
ヒヤリハット内容	□重機や機械が動いてぶつかりそうになった			□車両後退時に接触しそうになった				□土砂が崩れそうになった		
	□はさまれ・巻き込まれそうになった			□つまずき・転倒しそうになった				□物が飛来・落下してぶつかりそうなった		
	□切れ・こすれのケガをしそうになった			□無理な動作による反動でけがしそうになった				□高温物・有害物と接触しそうになった		
	□感電しそうになった			□窒息・中毒しそうになった				□火災になりそうになった		
	□交通事故にあいそうになった			□崩壊・倒壊になりそうだった				□その他（ ）		
発生状況の詳細	急な坂道を下り方向に切断していたところ、刃がくわれたため、一度刃を上げ再度切り始めるタイミングで自重により機械が逸走して壁にぶつかった （状況図など添付する場合は、別用紙とする）									
事業所長（担当者）記載	・安全作業5つの誓いに 【 □該当する □該当しない 】→該当する場合何に該当 【 □重機と人 □車両後退 □土砂崩壊 □墜落・転落 □非定常時作業 】									
	・安全作業5つ誓いに該当する場合、裏面に記す対策は実施されていたか 【 □全く対策なし □対策が不十分 □完全に実施できていた 】									
	・対策が未実施もしくは不十分だった場合の項目の番号 （裏面に記す対策の中から選定して記載） 【 】（複数可）									

ヒヤリハット報告書（該当項目にチェックマークを記入）

支店名：	事業所名：	工事名：
報告者氏名：	報告者所属会社名：	発生日：

発生時間	□始業前	□8～10時	□10～12時	□昼休み	□13～15時	□15～17時	□残業中	□終業後	□夜間	□その他（ ）
発生場所	□重機回り	□車両回り	□製造機械回り	□掘削・埋め戻し部	□道路（交差点内）	□道路（現場・店舗出入口）	□道路（左記以外）	□駐車場内	□足場作業床上	□足場～躯体への渡り部
	□足場昇降階段	□はしご・タラップ	□高所作業車上	□ローリングタワー上	□屋根上	□鉄骨上	□分電盤付近	□躯体建込部	□スラブ型枠上	□内装工事部
	□廊下	□バルコニー	□階段	□資材置場	□仮設事務所・休憩所	□朝礼広場	□ゲート付近	□仮設トイレ	□その他（ 社内 ）	
工事種別	□AS舗装工事	□路床工事	□路盤工事	□切削工事	□打換え工事	□掘削工事	□埋戻し工事	□地盤改良工事	□外構工事	□植栽工事
	□交通誘導員警備員	□施工管理	□工事管理	□通勤・現場間 移動	□足場の組立・解体工事	□測量・墨出し工事	□山留工事	□杭・柱改良工事	□基礎配筋工事	□基礎型枠工事
	□ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工事	□鉄筋工事	□圧接・溶接工事	□型枠工事	□その他	□ボイド工事	□鉄骨工事	□屋根工事	□外壁工事	□組石工事
	□防水工事	□塗装工事	□LGS工事	□造作工事	□PB張り工事	□クロス工事	□床（置床 フローリング）工事	□床（ｼｰﾄ・ｶｰﾍﾟｯﾄ）工事	□床（OAフロア）	□家具・住設工事
	□美装工事	□昇降機工事	□電気工事	□設備工事	□解体工事	□その他（	区画線工事			）
作業内容	□整地・敷均し作業	□締固め作業	□重機作業	□機械作業	□清掃・片付け	□通行（歩行）	□通行（一人で荷物運搬）	□通行（複数で荷物運	□荷物を手渡し	□昇降（階段・ﾀﾗｯﾌﾟ）
	□昇降（脚立・立ち馬）	□昇降 （重機・車両）	□打合せ	□休憩	□手直し・手戻り作業	□点検	□修理	□ｸﾚｰﾝ作業	□玉掛・外し作業	□誘導・監視作業
	□部材の加工作業	□自動車運転	□部材の組立作業	□部材の取付・取外し作業	□その他	□切断・穴あけ作業	□圧接・溶接・溶断作業	□練り混ぜ作業	□塗布作業	□足場の組立・解体作業
	□打設作業	□高所作業	□脚立・立ち馬上で作業	□有機溶剤取扱い作業	□はつり作業	□その他（				）
ヒヤリハット内容	□重機や機械が動いてぶつかりそうになった			□車両後退時に接触しそうになった				□土砂が崩れそうになった		
	□はさまれ・巻き込まれそうになった			□つまずき・転倒しそうになった				□物が飛来・落下してぶつかりそうなった		
	□切れ・こすれのケガをしそうになった			□無理な動作による反動でけがしそうになった				□高温物・有害物と接触しそうになった		
	□感電しそうになった			□窒息・中毒しそうになった				□火災になりそうになった		
	□交通事故にあいそうになった			□崩壊・倒壊になりそうだった				□その他（ 指に刺さりそうになっ		）
発生状況の詳細	カッティング作業中に機械の刃を交換しようとして、指に刃が刺さりそうになった （状況図など添付する場合は、別用紙とする）									
事業所長（担当者）記載	・安全作業5つの誓いに 【 □該当する □該当しない 】→該当する場合何に該当 【 □重機と人 □車両後退 □土砂崩壊 □墜落・転落 □非定常時作業 】									
	・安全作業5つ誓いに該当する場合、裏面に記す対策は実施されていたか 【 □全く対策なし □対策が不十分 □完全に実施できていた 】									
	・対策が未実施もしくは不十分だった場合の項目の番号 （裏面に記す対策の中から選定して記載） 【 】（複数可）									

ヒヤリハット報告書（該当項目にチェックマークを記入）

支店名：	事業所名：	工事名：
報告者氏名：	報告者所属会社名：	発生日：

発生時間	□始業前	□8～10時	□10～12時	□昼休み	□13～15時	□15～17時	□残業中	□終業後	□夜間	□その他（ ）
発生場所	□重機回り	□車両回り	□製造機械回り	□掘削・埋め戻し部	□道路（交差点内）	□道路（現場・店舗出入口）	□道路（左記以外）	□駐車場内	□足場作業床上	□足場～躯体への渡り部
	□足場昇降階段	□はしご・タラップ	□高所作業車上	□ローリングタワー上	□屋根上	□鉄骨上	□分電盤付近	□躯体建込部	□スラブ型枠上	□内装工事部
	□廊下	□バルコニー	□階段	□資材置場	□仮設事務所・休憩所	□朝礼広場	□ゲート付近	□仮設トイレ	□その他（ ）	
工事種別	□AS舗装工事	□路床工事	□路盤工事	□切削工事	□打換え工事	□掘削工事	□埋戻し工事	□地盤改良工事	□外構工事	□植栽工事
	□交通誘導員警備員	□施工管理	□工事管理	□通勤・現場間移動	□足場の組立・解体工事	□測量・墨出し工事	□山留工事	□杭・柱改良工事	□基礎配筋工事	□基礎型枠工事
	□ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工事	□鉄筋工事	□圧接・溶接工事	□型枠工事	□その他	□ボイド工事	□鉄骨工事	□屋根工事	□外壁工事	□組石工事
	□防水工事	□塗装工事	□LGS工事	□造作工事	□PB張り工事	□クロス工事	□床（置床 フローリング）工事	□床（ｼｰﾄ・ｶｰﾍﾟｯﾄ）工事	□床（OAフロア）	□家具・住設工事
	□美装工事	□昇降機工事	□電気工事	□設備工事	□解体工事	□その他（	区画線工事			）
作業内容	□整地・敷均し作業	□締固め作業	□重機作業	□機械作業	□清掃・片付け	□通行（歩行）	□通行（一人で荷物運搬）	□通行（複数で荷物運	□荷物を手渡し	□昇降（階段・ﾀﾗｯﾌﾟ）
	□昇降（脚立・立ち馬）	□昇降（重機・車両）	□打合せ	□休憩	□手直し・手戻り作業	□点検	□修理	□ｸﾚｰﾝ作業	□玉掛・外し作業	□誘導・監視作業
	□部材の加工作業	□自動車運転	□部材の組立作業	□部材の取付・取外し作業	□その他	□切断・穴あけ作業	□圧接・溶接・溶断作業	□練り混ぜ作業	□塗布作業	□足場の組立・解体作業
	□打設作業	□高所作業	□脚立・立ち馬上で作業	□有機溶剤取扱い作業	□はつり作業	□その他（	区画線工事			）
ヒヤリハット内容	□重機や機械が動いてぶつかりそうになった			□車両後退時に接触しそうになった				□土砂が崩れそうになった		
	□はさまれ・巻き込まれそうになった			□つまずき・転倒しそうになった				□物が飛来・落下してぶつかりそうなった		
	□切れ・こすれのケガをしそうになった			□無理な動作による反動でけがしそうになった				□高温物・有害物と接触しそうになった		
	□感電しそうになった			□窒息・中毒しそうになった				□火災になりそうになった		
	□交通事故にあいそうになった			□崩壊・倒壊になりそうだった				□その他（ ガスボンベを落としそ		）
発生状況の詳細	夜間積込の時、ガスボンベを荷台から降ろす際、手を滑らせて落としそうになった （状況図など添付する場合は、別用紙とする）									
事業所長（担当者）記載	・安全作業5つの誓いに 【 □該当する □該当しない 】→該当する場合何に該当 【 □重機と人 □車両後退 □土砂崩壊 □墜落・転落 □非定常時作業 】 ・安全作業5つ誓いに該当する場合、裏面に記す対策は実施されていたか 【 □全く対策なし □対策が不十分 □完全に実施できていた 】 ・対策が未実施もしくは不十分だった場合の項目の番号 （裏面に記す対策の中から選定して記載） 【 】（複数可）									

ヒヤリハット報告書（該当項目にチェックマークを記入）

支店名：	事業所名：	工事名：
報告者氏名：	報告者所属会社名：	発生日：

発生時間	□始業前	□8～10時	□10～12時	□昼休み	□13～15時	□15～17時	□残業中	□終業後	□夜間	□その他（ ）
発生場所	□重機回り	□車両回り	□製造機械回り	□掘削・埋め戻し部	□道路（交差点内）	□道路（現場・店舗出入口）	□道路（左記以外）	□駐車場内	□足場作業床上	□足場～躯体への渡り部
	□足場昇降階段	□はしご・タラップ	□高所作業車上	□ローリングタワー上	□屋根上	□鉄骨上	□分電盤付近	□躯体建込部	□スラブ型枠上	□内装工事部
	□廊下	□バルコニー	□階段	□資材置場	□仮設事務所・休憩所	□朝礼広場	□ゲート付近	□仮設トイレ	□その他（ ）	
工事種別	□AS舗装工事	□路床工事	□路盤工事	□切削工事	□打換え工事	□掘削工事	□埋戻し工事	□地盤改良工事	□外構工事	□植栽工事
	□交通誘導員警備員	□施工管理	□工事管理	□通勤・現場間移動	□足場の組立・解体工事	□測量・墨出し工事	□山留工事	□杭・柱改良工事	□基礎配筋工事	□基礎型枠工事
	□ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工事	□鉄筋工事	□圧接・溶接工事	□型枠工事	□その他	□ボイド工事	□鉄骨工事	□屋根工事	□外壁工事	□組石工事
	□防水工事	□塗装工事	□LGS工事	□造作工事	□PB張り工事	□クロス工事	□床（置床 フローリング）工事	□床（ｼｰﾄ・ｶｰﾍﾟｯﾄ）工事	□床（OAフロア）	□家具・住設工事
	□美装工事	□昇降機工事	□電気工事	□設備工事	□解体工事	□その他（	区画線工事			）
作業内容	□整地・敷均し作業	□締固め作業	□重機作業	□機械作業	□清掃・片付け	□通行（歩行）	□通行（一人で荷物運搬）	□通行（複数で荷物運	□荷物を手渡し	□昇降（階段・ﾀﾗｯﾌﾟ）
	□昇降（脚立・立ち馬）	□昇降（重機・車両）	□打合せ	□休憩	□手直し・手戻り作業	□点検	□修理	□ｸﾚｰﾝ作業	□玉掛・外し作業	□誘導・監視作業
	□部材の加工作業	□自動車運転	□部材の組立作業	□部材の取付・取外し作業	□その他	□切断・穴あけ作業	□圧接・溶接・溶断作業	□練り混ぜ作業	□塗布作業	□足場の組立・解体作業
	□打設作業	□高所作業	□脚立・立ち馬上で作業	□有機溶剤取扱い作業	□はつり作業	□その他（	作図			）
ヒヤリハット内容	□重機や機械が動いてぶつかりそうになった			□車両後退時に接触しそうになった				□土砂が崩れそうになった		
	□はさまれ・巻き込まれそうになった			□つまずき・転倒しそうになった				□物が飛来・落下してぶつかりそうなった		
	□切れ・こすれのケガをしそうになった			□無理な動作による反動でけがしそうになった				□高温物・有害物と接触しそうになった		
	□感電しそうになった			□窒息・中毒しそうになった				□火災になりそうになった		
	□交通事故にあいそうになった			□崩壊・倒壊になりそうだった				□その他（ ）		
発生状況の詳細	区画線作図作業の際に一般車両とぶつかりそうになった （状況図など添付する場合は、別用紙とする）									
事業所長（担当者）記載	・安全作業5つの誓いに 【 □該当する □該当しない 】→該当する場合何に該当 【 □重機と人 □車両後退 □土砂崩壊 □墜落・転落 □非定常時作業 】									
	・安全作業5つ誓いに該当する場合、裏面に記す対策は実施されていたか 【 □全く対策なし □対策が不十分 □完全に実施できていた 】									
	・対策が未実施もしくは不十分だった場合の項目の番号 （裏面に記す対策の中から選定して記載） 【 】（複数可）									

5つの誓いの対策一覧

重機と人分離

① 重機稼働範囲立入禁止の確実な囲いと明示

② 監視員は監視員教育を受講しているか

③ 重機稼働時に囲いと明示が困難な場合や人が立ちいる危険がある場合は、監視員を配置しているか

④ 監視員と重機オペレータは、合図方法を確認しているか

⑤ 自分の安全確保と重機と人を見渡せる位置で監視しているか

⑥ 笛、誘導棒等を携行し、腕章、チョッキ等で明示しているか

⑦ 重機稼働範囲内を監視し、人を近づけていないか

⑧ 重機稼働範囲内に人が立ち入る場合は重機を停止させているか

⑨ 重機稼働範囲内から人が居なくなってから、重機を再稼働させているか

⑩ 誘導員は誘導教育を受講しているか

⑪ 重機移動時に人と接触の危険がある場合は、誘導員を配置しているか

⑫ 誘導員と重機オペレータは、合図方法を確認しているか

⑬ 自分の安全確保と重機オペレータから見える位置で誘導しているか

⑭ 笛、誘導棒等を携行し、腕章、チョッキ等で明示しているか

⑮ 重機の進行方向に人がいないことを確認しながら重機を誘導しているか

⑯ 重機の進行方向に人が入った場合、重機を止めているか

⑰ 重機の稼働・移動前に合図を送り、周囲の人を遠ざけているか

⑱ 監視員、誘導員の誘導合図に従っているか

⑲ 移動中に誘導員が見えなくなったら、重機を止めているか

⑳ 監視員の指示無しに、重機の稼働範囲に入っていないか

㉑ 重機の稼働範囲内に入る場合は、重機が停止したことを確認し、監視員の指示に従って入っているか

㉒ 重機移動時に重機の進行方向に入っていないか

土砂崩壊

A) 1．5m以上の掘削は、施工計画を作成し支店の承認を得て、土止めをしているか

B) 1．5m未満でも、崩れる恐れはないか（土止めをしているか）

C) 土止め作業の手順を決めているか（手順書はあるか）

D) 掘削箇所での作業は、崩壊の危険を点検しているか

車両後退

a) 誘導員と合図方法を確認しているか

b) 誘導合図が見えやすく、聞こえやすいように窓を開けているか

c) 誘導員の誘導合図で後退しているか（誘導員無しで後退していないか）

d) 誘導員が見えなくなったら、その場で停止しているか

e) 誘導員は誘導教育を受講しているか

f) 車両運転手と合図方法を確認しているか

g) 笛、誘導棒等を携行し、腕章、チョッキ等で明示しているか

h) 自分の安全確保と車両運転手から見える位置で誘導しているか

i) 進行方向に人がいないことを確認しながら誘導をしているか

j) 誘導中に進行方向に人が入った場合、車両を止めているか

k) 車両後退中に進行方向に入っていないか

墜落・転落

イ) 安全に作業ができる作業床を設置しているか

ロ) 墜落危険箇所に手摺りや囲い等の転落防止設備があるか

ハ) 作業床、手摺り、囲いが設置できない場合は、親綱等を設置しているか

二) 親綱等は、ランヤードの長さを考慮した高さに設置してあるか

ホ) 防網を設置できる全ての場所に取り付けてあるか

ヘ) 高所では、常に安全帯を親綱等に掛けているか

ト) 5m以上の高所では、2丁掛けフルハーネス安全帯を使っているか

チ) 2丁掛け安全帯は、移動時や掛け換え時も含め、常に1丁は掛けた状態で使用ているか

非定常時作業

あ) 機械装置の点検・清掃・修理ではさまれ、巻き込まれのおそれのある作業は装置を止めているか

い) 起動装置に誤作動しない処置をしているか

う) 起動装置に起動禁止表示をしているか

え) 作業手順を定め、その手順に従って作業しているか

お) 再稼働前にサイレンを鳴らしているか

か) 構内作業者全員を安全確認ゾーンに集めて、顔を確認しているか

き) 構内作業者全員の安全を確認後に、再度サイレンを鳴らしているか

く) サイレンを鳴らした後に、再稼働スイッチを入れているか